

ミサイル配備 説明を

沖縄 与那国町民、防衛省に質問書

沖縄県与那国町の陸上自衛隊与那国駐屯地への措置

空誘導弾（ミサイル）部隊の追加配備計画をめぐり、同町の住民が10日、防衛省沖縄防衛局に質問書を提出しました。15日に予定されてくる住民説明会で回答するよう求めました。

質問は10項目で、△部隊配備に伴う基地拡張は、敵

基地攻撃可能なミサイル配備のためではないか▽基地が攻撃された場合、与那国島の安全がどう保障されるのか△ミサイル配備の住民同意をどう得るのかなど

を聞きました。

また、糸数健一町長が求めている県営の与那国空港滑走路延伸や港湾整備に関して、「与那国島の明るい未来を願うインバの会」と住民11人が県に対し、これ以上の基地強化を認めないことを求める要請書をそれぞれ提出しました。

質問書と要請書の提出後、代表者3人が県庁で記者会見し、山田和幸さん（71）は、「防衛省の説明がどうなるか予断を許さないが、実態を住民みんなで共

有する扉を開いてくれるのはないか」と質問書を出

した意義を語りました。

「インバの会」共同代表の山口原子さん（64）は、

「黙っていてはいけない、小さな声でも上げ続けなければいけないとこう思いがみんなの中に生まれていった形になった」と述べました。

植松貢子さん（39）は、「住民が感じている恩苦しむとか、言葉にならない不安を少しでも知つてもらいたい」と訴えました。



記者会見する与那国島住民の（左から）植松、山口、山田の3人=10日、沖縄県庁